

区政への一般質問

(要旨・5面から続く)



荒川 なお

(共産党)

核兵器廃絶を求めて

【質問】①29年7月7日に核兵器禁止条約が国連で採択されたが、日本政府はその条約交渉会議に参加しなかった。核兵器禁止条約が採択されたことの重要性について、区長の見解は。②平和都市宣言を



小林 おとみ

(共産党)

第7期介護保険事業計画について

【質問】①次期事業計画策定にあたり、介護給付費の削減を最優先にし、必要な介護が受けられなくなるような事態を生まないよう求めるが、見解は。②認知症サポーター養成講座を地域センターやおとしより相談センターで定期的に開催し、地域の人が気軽に参加できるようにしては。



ハッピーロード大山商店街

【質問】①介護を必要とする高齢者に適切にサービスが提供されるよう取り組んでいる。②区内4か所で開催しているほか、出前講座も実施している。今後、各おとしより相談センターの圏域を中心に計画的な実施について検討する。

【質問】大山の再開発は、

【区長】補助金として対象事業費の3分の2の支出を予定している。資金計画については組合設立認可時に必要であり、都市計画決定時点では確定していない。また、権利

断すべき事項であり、区としては政府の動向を見守りたい。

小豆沢公園改修計画を問う

【質問】①計画を見直し、野球グラウンドの外周や弓道場も含めた改修計画とすべきでは。②施設利用者などの意見を聞き、計画に生かすべき住民の声にはどのようにこたえていくのか。③子どもの遊び場が狭く、遊具も限られている。現在の計画よりもさらに子供の遊び場を広くするよう求めるが、見解は。

【区長】①野球グラウンドの外周などは、対象範囲から除かれているが、外周については区民ニーズや財政状況を踏まえ今後検討する。弓道場については、老朽化への対策が必要な施設に位置付けられ

変換モデルについては一般に公開されるものではない。

国民健康保険事業について

【質問】30年度からの広域化実施が、保険料引上げにつながらないよう、都に補助金の引上げを強く求めるべき。見解は。

【区長】広域化に向けた都との協議の中で、都独自で区市町村に対する財政支援を講じるよう強く求めている。

住宅政策について

【質問】①区内ではワンルームのマンションが急増している。ファミリータイプを一定規模入れるよう、小規模住戸集合建築物条例の見直しを。②いわゆる「民泊新法」が30年6月に施行されるが、権限移譲について区としての考えは。③管理組合において民泊の是非が決まっている

ており、38年度からの10年間で検討予定。②現在、地元説明会や意見交換会、小学生へのアンケート調査を行っており、可能な限り地域住民の意向を踏まえながら設計を進めたい。③現在の計画以上に広くできるかは、他施設との調整を図りながら検討していく。

待機児童解消を目指して

【質問】30年度に572名の定員増を実施しても待機児童の解消が困難だというのは、計画が不十分なのではないか。計画を前倒しして保育園を増やすべき。見解は。

【区長】国の定義変更などによる待機児童の増加要因も見込まれており、待機児童の状況を見極めつつ、施設整備計画の拡充や待機児童の多く

マンションについては、民泊の届出の受付はやめるべき。見解は。

【区長】①他区の条例や取り組みを参考に研究を進める。②区民の安心・安全に軸足を置き、条例制定も視野に入れ、権限移譲について都と協議していく。③管理組合の決議や管理規約などで定めるものがあり、区が一律に規制することは困難である。

学校給食費の公費化を求めて

【質問】教員の多忙化解消・父母負担軽減に向け、まず給食費公費化について検討を。②文科省は、給食費徴収方法のガイドラインを策定する方向であり、その動きを注視しながら、実施済の自治体の調査・研究を行う。

※以上のほか、経済政策の転換を求めて、ホテル生環境問題、児童相談所について質問があった



南雲 由子

(市民)

乳児ショートステイ事業について

【質問】区の乳児ショートステイ事業は有効だが、年14日間までの利用と決められて

を占める1歳児対策などを総合的に検討する。

図書館トイレの洋式化を求めて

【質問】①学校や集会所などのトイレは洋式化について一定の改善策が示されているが、図書館は改善されていない。蓮根図書館はだれでもトイレのみが洋式であとはすべて和式である。図書館トイレ洋式化の進捗状況

【質問】①学校や集会所などのトイレは洋式化について一定の改善策が示されているが、図書館は改善されていない。蓮根図書館はだれでもトイレのみが洋式であとはすべて和式である。図書館トイレ洋式化の進捗状況



五十嵐 やす子

(市民)

障がい者福祉について

【質問】区が視覚障がい者へ送付する郵便物には点字を記載するよう改善を。

【区長】点字を打てる職員に限られており、すべての郵便物に点字を付することは困難である。求めに応じて可能な限りの対応を行いたい。

性的少数者への配慮を問う

【質問】①小・中学校の先生や保護者などが一堂に会しLGBTをテーマとした板橋アカデミーが開催された。今回の評価と、今後どう生かそうと考えているか。見解は。

【区長】②裏面記載の性別への配慮については、保険証

開始したが、29年度からは宿泊事業に加え日帰り利用も可能としてきた。利用日数増については利用者の需要を鑑みて検討する。

里親制度の現状を問う

【質問】里親制度への区の取組みの現状と、児童相談所設置を見据えた今後の方針は。

【区長】すくすくまつりでの啓発や、児童相談所と共同で養育家庭体験発表会を開催予定。里親制度は、児童相談所設置後に区の事業として取り進むこととなるため、社会的養護の受け皿として里親登録が増えるよう引き続き普及啓発する。

医療的ケア児について

【質問】①医療的ケアが必要な子どもの親が、休息や他の兄弟姉妹と過ごすことなどができる訪問型レスパイト事業(一時預かり)の早急な整備が必要と考えるが見解は。

の表面に通称名の記載が可能となったことも含め、区のホームページで周知していく。

【教育長】①180名を超える参加があり、関心の高さが伺える。多様性を深めるための教師への研修を継続し、人権尊重の理念に立った指導の充実につなげる。

防災について

【質問】①荒川が想定最大規模の洪水となった場合、区が想定する対応は。②町会に加入していない区民でも、スタンドパイプをはじめとした防災に関する体験ができるよう整備を。

【区長】①被害想定区域には区の人口の24%にあたる13万人が居住しており、約4万

②医療機関などの民間と連携して、医療的ケア児のショートステイ先を確保すべきと考えるが区の見解は。

【区長】①安全性の確保のため支援のあり方や人材の確保が重要と考える。現在作成中の第1期障がい児福祉計画の中において検討を進める。②専門性が高いことや看護師などの人材確保に課題がある。医療機関などと連携し、事業者の確保に努めたい。

地域猫対策について

【質問】猫好きにも苦手な人のためにも、野良猫を減らすには、市民ボランティアとの連携が重要。手術費用が活動のハードルとなるが、飼い主がいなくても猫への不妊・去勢手術の助成を増やすべきでは。

【区長】飼い主のいない猫対策モデル事業の本格実施への移行や、助成額の妥当性、本事業以外の助成額について早急に検討していく。

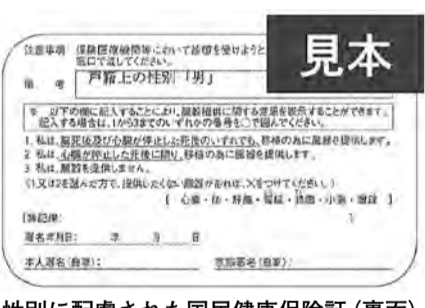
人の孤立が想定される。荒川下流タイムラインを運用し犠牲者・逃げ遅れゼロをめざす。②スタンドパイプについては災害危険度の高い地域の街頭に設置し、地域住民への訓練を実施予定。当面は地域の訓練の充実により習熟を図る。

児童相談所について

【質問】児童相談所の設置に向け、職員配置について区の見解は。

【区長】人口に応じた配置に加え、虐待対応件数に応じた人員配置が求められる。円滑な運営が行えるよう人員配置も含め、検討を進める。

※以上のほか、英語村・マレーシアへの派遣について質問があった



性別に配慮された国民健康保険証(裏面)